

令和5年度の重点課題

【情意面での課題】

・休憩時間以外に出て楽しく体を動かしている児童が、74.1%であり、部屋の中で過ごす児童が増えてきている。  
・体を動かしたり、運動をしたりすることが好きだと答える児童の割合が、学年が上がるにつれ減少傾向にある。

【体力面での課題】

・「握力」「上体起こし」「立ち幅跳び」において、男子女子ともに県平均値かつ全国平均値よりも低い。  
・上記に加えて女子は、長座体前屈と反復横跳びにおいて県平均値かつ全国平均値よりも低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

【体育の授業内】

○年間を通して準備運動(10分程度)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。

- ・しつぽとり
- ・新聞ボール投げ合戦
- ・ねことねずみ 等

○準備運動の際、主に握力を鍛えるために、手押し車じゃんけんや上体起こし、かえるの足うち等、体を支える運動の中から一つを毎回の授業で必ず行うようにする。

○体育の授業の導入部分で「握力」「立ち幅跳び」を高めるため、サーキットトレーニングを継続的に行う。

【体育の授業外】

○学校行事として、11月にクラス対抗の「大縄跳び大会」を開催し、寒くなる時期にも継続的に外に出て体を動かす機会を設ける。

- 週に一度、休憩時間に学級での外遊びを奨励する。
- なわとびカードを作成し、継続的に縄跳びに取り組めるようにする。
- 月に1回縦割り班での外遊びを行い、外で体を動かす時間を設ける。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.15	20.57	32.60	35.88	49.62	8.85	156.75	20.69	53.71	第5学年	15.21	17.79	33.00	36.05	52.84	9.13	142.74	15.32	55.26

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.15	20.57	32.60	35.88	49.62	8.85	156.75	20.69	53.71	第5学年	15.21	17.79	33.00	36.05	52.84	9.13	142.74	15.32	55.26

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	50.00	50.00	0.00	0.00	第5学年	44.44	55.56	0.00	0.00

学校独自の意識調査

	16. 体を動かしたり運動をしようとするのは好きですか。	17. 体育の授業は楽しくかかっていますか。	18. 休憩時間は、外に出て楽しく体を動かしていますか。
あてはまる	78.75	85.42	56.25
だいたいあてはまる	12.5	11.67	18.33
あまりあてはまらない	6.25	1.25	19.17
あてはまらない	2.5	1.67	6.25

重点課題

情意面での課題

・「体を動かしたり、運動をしたりすることが好きだ。」と肯定的に回答した児童は、約90%、「体育の授業は楽しく体を動かしている。」と回答した児童は、約97%とあり、ほとんどの児童が運動が好きであることが伺える。

・「休憩時間は、外に出て楽しく体を動かしている。」と回答した児童が、約74%であるが、あてはまらないと回答した児童は、約25%であり、休憩時間に、教室で過ごしている児童が多いことが分かる。

体力面での課題

○男子  
「握力」、「長座体前屈」、「反復横跳び」、「ボール投げ」において、県平均・全国平均より低い。

○女子  
「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横跳び」、「立ち幅跳び」において、県平均・全国平均より低い。

令和7年度の重点目標値

- 「握力」「ボール投げ」を県平均以上にする。
- 体を動かしたり、運動をしたりすることが好きだと答える児童の割合を、85%以上にする。
- 休憩時間は外に出て、楽しく体を動かしていると答える児童の割合を、80%以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○年間を通して準備運動(10分程度)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。その際、新体力テストの結果が県平均値かつ全国平均値未満の項目を高める動きを中心に取り入れるようにする。

・しつぽとり(反復横跳び)・新聞ボール投げ合戦(ボール投げ)・ジャンプおに(立ち幅跳び)等

○体育の授業の導入部分で「握力」「立ち幅跳び」を高めるため、サーキットトレーニングをしたり、「長座体前屈」を高めるために、ストレッチを行ったりする。

体育の授業以外で行う取組内容

○学校行事として、11月にクラス対抗の「大縄跳び大会」を開催し、寒くなる時期にも継続的に外に出て体を動かす機会を設ける。

○週に一度、休憩時間に学級での外遊びを奨励する。

○なわとびカードを作成し、継続的に縄跳びに取り組めるようにする。

○月に1回縦割り班での外遊びを行い、外で体を動かす時間を設ける。

○体育委員会が中心となり、遊びの企画を行う。